

金蘭短期大学

～ 教材・資料や板書記録による授業アーカイブの構築 ～

金蘭短期大学では、学内のWebサイトに、シラバス、授業で使用するスライド等の教材、収録した板書のイメージ等の掲載と、課題毎のレポート提出フォルダなどを組合せ、主に事後学習を目的とする学習システムを構築しており、毎回の授業を記録することにより教材の蓄積と再利用を可能にしている。

1. e - ラーニングの実施目的：

- ・ 教員の授業準備を支援するため
- ・ 授業での教材提示を充実するため
- ・ ネットワークを介した学生との質疑応答などインタラクティブ性を確保するため

2. e - ラーニングの実施規模

実施の規模 学部学科単位に実施
 e - ラーニングを活用する科目数 40科目
 対象となる学生数 150人

3. 授業での位置付け

本学では、毎回の授業で使用する教材 (Powerpoint、Excel、Word 等) や資料とともに、授業の板書イメージを記録・保存しており、学生はいつでも学内Webサイトから閲覧でき、前回の授業内容の復習として、配付資料や講義内容および板書内容の再生ができるようにしている。

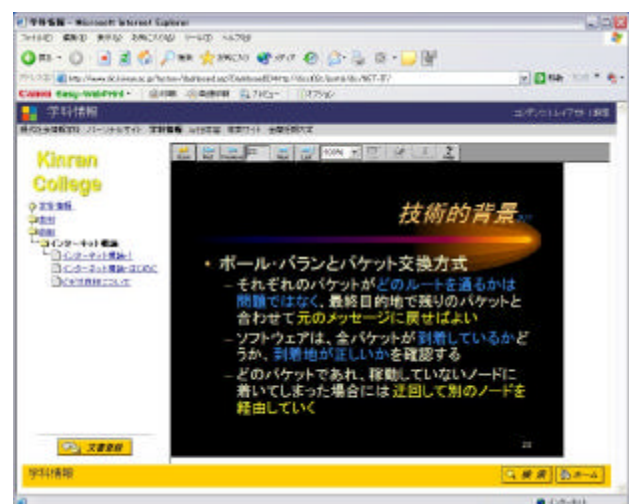
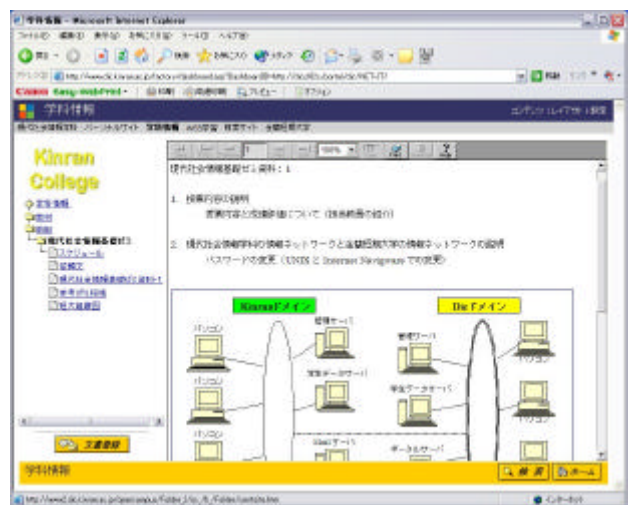
4. 代表的な授業科目での活用内容

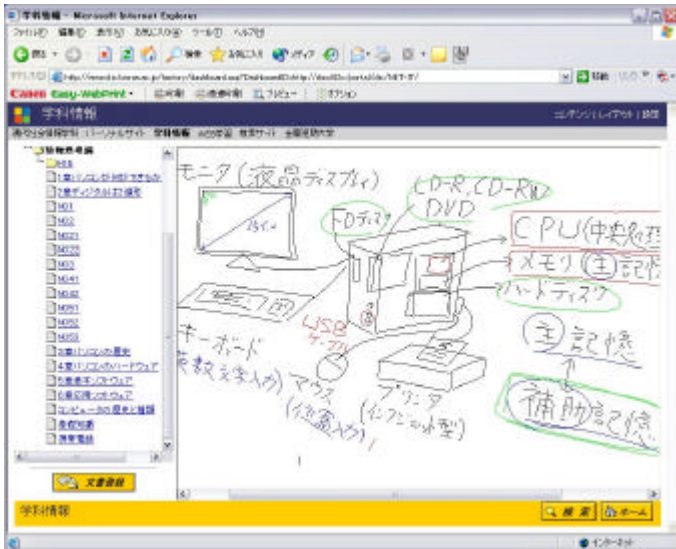
- (1) 科目名 『情報処理論』
 (2) 受講学生数 40人
 (3) 具体的な活用状況

今回の授業教材の事前提示 (教材フォルダ) を行う。

授業教材提示をしながら板書で詳細説明 (学生の質問に答える) し、その内容を保存する。

前回の授業内容を配付資料 (Word、Powerpoint) の再表示および板書内容の再生で復習してから今回のテーマに入る。





5 . e - ラーニングの活用により期待している効果

教員の授業内容の記録化による教材作成支援を行うことが可能 (板書内容が教材として記録される)。

欠席学生が授業記録により自習の上、次回の授業に臨むことができる。

試験前の学生の再学習教材として提供することが可能となった。



6 . 大学の支援内容

教員が授業で使用する Word/Excel/Powerpoint/画像などの教材・資料を体系的に格納可能な保管フォルダの提供・管理している。

授業の板書内容を記録し再利用可能な状態に編集の上、教員のフォルダに登録するなど、授業アーカイブ構築を支援している。

7 . 今後の方針、拡大・改善の計画

映像教材の充実や多様な授業形態の実現を目指し、以下の対応を行うことにしている。

専任教員以外への授業支援説明会の実施 (教材登録方法、教材配布方法、レポート提出)。

授業動画、記録と再生への取り組み (Powerpoint と動画) 授業。

Web カンファレンスシステムによる遠隔授業への取り組み (学内の複数教室による一斉講義など)。

《問い合わせ先》

金蘭短期大学 情報処理教育センター次長 前田 進 氏

TEL: 06-6872-7772(センター直) 06-6872-0673 (代)